



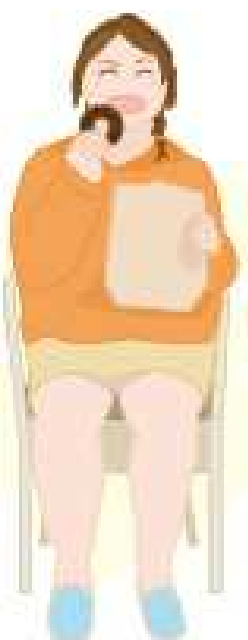
**Q**：症状はありませんが検診のエコー検査で胆のう結石症と言われました（40代・女性）

**A**：日本人の胆石保有率は2・4～18・9%とされ、おおざっぱに言って10人に1人くらいは胆石を持っていると言われます。近年増加傾向にあります。原因の1つとして、高脂肪食など食生活の欧米化が指摘されています。

胆石と一言で言っても、その種類にはいろいろあるので、生活習慣や肥満と密接にかかわるコレステロール胆石が最も多く、60～70%を占めます。このコレステロール胆石の危険因子は、欧米では昔から「5F」と言われ、女性

（female）、40歳代（forty）、肥満（fatty）、白人・色白（fair）、多産（fecund）とされています。また、その他の危険因子として、糖尿病、甲状腺機能低下症、高脂血症などが挙げられています。

胆石症における胆のうがんの発生頻度は0・1～0・5%と低率で、直接的因果関係は証明されていません。です



から、無症状胆石は原則的には経過観察で問題ありませんが、胆石発作や胆のう炎を起こすなど、有症状胆石の場合には治療が必要です。

（岡田俊一・おかだ内科クリニック院長、甲府市北口2-9-12、ニスコー北口駅前ビル2F）

☎0555・2888・1801